

# 災害が起きた時、

## 自ら避難する人が不安な人へ

### 情報提供への「同意」をお願いします

#### 「同意書」の提出を

災害発生時、お年寄りや体の不自由な皆さんが安全に避難できる態勢を作ることは、地域の大きな課題といえます。

市では、自ら安全に避難することが困難な皆さんの名簿（避難行動要支援者名簿）を作成しています。避難の支援を行う区等関係機関へこの名簿の情報を提供するためには、本人の同意が必要となりますので、同意書（避難行動要支援者名簿提供同意書）の提出をお願いします。

高齢者のみの世帯や障がい者など要件に該当し「同意書」を未提出の人へ、毎年12月下旬に市からご案内を送付しています。詳しくはそちらをご覧ください。

また、要件に該当しない人でも、日中一人になる高齢者など、自ら避

難することに不安がある人は、この同意書を提出いただくことで名簿に登録されます。

登録を希望される場合は、長寿社会課または各支所地域課にお申し出ください。

長寿社会課（☎71・2253 FAX 71・2328） 記事ID 84253

#### 名簿の使いみち

同意をした人の避難行動要支援者名簿は、お住いの区（自治会）で作成する「災害時住民支え合いマップ」の資料となるほか、民生児童委員、市社協・消防局・警察に提供され、平常時の見守り活動や災害時の避難支援・安否確認などに役立てられます。

なお、個人情報、適切に管理され、見守り活動や災害対応のみに利用されます。

市では、災害時の避難行動に不安がある人を対象にした名簿を作成しています。

### 災害時住民支え合いマップとは？

地域の皆さんが、災害などいざという時に「みんなで助かる」ための情報を載せた地図です。この地図は、各区（自治会）が主体となって作成しています。ご近所の皆さんが関わりながら地図を作成することで、住民同士のつながりや支え合いを再認識することができ、円滑な避難体制が築かれます。マップ作成は、上記「避難行動要支援者名簿」に基づき、あらためて区の役員等が訪問・面談し、状況をお聞きしながら行われます。



避難時に支援が必要な人や危険個所など掲載した「災害時住民支え合いマップ」。各区の工夫が施されている。

市では、安全安心な地域づくりを進めるため、区への加入をおすすめしています。加入については各地区の区長さんへご相談ください。連絡先が不明な場合は、市民生活部地域づくり課（☎71・2494）へお問い合わせください。

# 新型コロナウイルス対策

## 12月補正予算

市では、新たな新型コロナウイルス対策として必要な経費をまとめました。12月議会後の速やかな実施を目指します。



12月定例会の開催（11/22）

### 備えは万全ですか？

#### 補助金の申請はお早めに

市では避難情報をすぐに入手できるように、市防災ラジオの準備をおすすめしています。また、平常時から備えとして必要最低限の持出品（1日分程度の食べ物や飲み物）を非常持出袋に準備し、最低3日分、できれば1週間分の備蓄品を各ご家庭で用意しておくことを呼びかけています。

これらの防災用品の購入に対して、予算の範囲内で補助金を交付しています。本年度も申請件数が多いため、お早めの申請をお願いします。詳しくは、市HP [77](#) をご覧くださいか、危機管理課（☎71・2119 FAX 72・6739）までお問い合わせください。



避難情報を発信する市防災ラジオ

- 対象品目 市防災ラジオ、消火器、地震対策用品、非常持出品（懐中電灯、乾電池等）、備蓄品（非常食、飲料水等）

### ●新型コロナワクチン接種（3回目接種）の実施

[予算 1億445万円]

ワクチンの有効性を保つために、国の方針に基づいた追加接種を実施します。

### ●貸出用モバイル Wi-fi ルーターを整備

[予算 119万円]

緊急時の家庭学習を可能とするため、貸出用のモバイル Wi-fi ルーターを市内小中学校 17 校分、120 台購入します。

### ●学校の感染症対策用品を追加購入

[予算 265万円]

小中学校での感染症対策を徹底するため、空気清浄機や消毒用アルコールなどを追加購入します。

### ●宿泊施設応援券を発行

[予算 3,633万円]

観光需要活性化のため、市内施設の宿泊費の一部を来年1月下旬から3月まで助成します。3,000円券×10,000枚を発行予定。

### ●「安曇野あんしん旅」プランの企画造成を支援

[予算 1,340万円]

安曇野への旅行を安全・安心に楽しんでもらうため、旅行・宿泊事業者がつくる新たな企画の経費を助成します。

※万円未満四捨五入